

[018]教育経営学研究紀要目次等

<https://hdl.handle.net/2324/1560580>

出版情報：教育経営学研究紀要. 18, 2016-01-23. 九州大学大学院人間環境学府(教育学部門)教育経営学
研究室/教育法制論研究室

バージョン：

権利関係：

略 歴 書

八尾坂 修（昭和26年1月生）

〈学 歴〉

- ・中央大学法学部法律学科卒業
- ・米国ハーバード大学教育大学院修士課程修了
- ・博士（教育学・九州大学）論文名「アメリカ合衆国教員免許制度の研究—教育史的考察」

〈職 歴〉

- ・国立教育研究所研究員、主任研究官（教育経営研究部）
- ・奈良教育大学助教授、教授
- ・九州大学大学院人間環境学研究院（教育学部門）教授（平成15年4月から現在）
- ・九州大学教育学部長（平成20年7月～平成22年6月）
- ・福岡市教育委員会教育委員（平成20年12月～現在、平成22年4月から委員長）

〈教育施策関連委員〉

- ・中央教育審議会初等中等教育分科会（教員養成部会）委員
- ・文部科学省独立行政法人評価委員会委員
- ・文部科学省政策評価に関する有識者会議ワーキングチーム有識者（独立行政法人教員研修センター評価ワーキング主査）[現在]
- ・国立大学法人評価委員会専門委員 [現在]
- ・大阪府、奈良県、奈良市、京都府、福岡市、福岡県等の教育施策、学校評価、教員人事評価、研修施策等の委員を歴任

〈研究上、教育施策活動上の功績による表彰等〉

- ・日本教育経学会国際貢献賞（平成20年）
- ・九州大学表彰（平成22/23年度）
- ・日本教育行政学会功労賞（平成26年）
- ・日本教育経営学会功労賞（平成27年）
- ・天皇陛下主催園遊会に出席（於：赤坂御苑、平成27年11月12日）

〈学会活動〉

- ・日本教育経営学会、日本教育行政学会、日本教育学会、日本教育制度学会、日本カリキュラム学会、日本教師教育学会の理事を歴任。アメリカ教育学会代表理事、九州教育経営学会会長。

〈主要著書・論文等〉

I 単著書

1. 『アメリカ合衆国教員免許制度の研究』風間書房、1998年（平成10年度文部省刊行助成学術図書）。
2. 『明日をひらく30人学級』（かもがわブックレット123）かもがわ出版、1999年。
3. 『現代の教育改革と学校の自己評価』ぎょうせい、2001年、2006年（5版）。
4. 『学校改善マネジメントと教師の力量形成』第一法規、2004年。
5. 『教職大学院－スクールリーダーをめざす』協同出版、2006年
6. 『学校改革の課題とリーダーの挑戦』ぎょうせい、2008年。
7. 『教員免許更新制度』明治図書、2008年
8. 『学校開発と人（ひと）』ジアース教育新社、2015年

9. 『教員をめざす人の本』（監修）成美堂出版、2004年 - 2014年（年度版）。

II 編著書（代表）

1. 『指導力不足教員読本』教育開発研究所、2001年。
2. 『期待される学校評価能力』教育開発研究所、2002年。
3. 『指導力不足教員への経営戦略』教育開発研究所、2002年。
4. 『学校の自己点検、評価事例集』教育開発研究所、2003年。
5. 『教職員の不祥事を防止する学校マネジメント』教育開発研究所、2005年。
6. 『教員人事評価と職能開発—日本と諸外国の研究—』風間書房、2005年（平成17年度日本学術振興会助成図書）。
7. 『企画・立案・運営に役立つ初任者研修マニュアル』（高倉翔・八尾坂修編著）ぎょうせい、2005年。
8. 『これからの学校と“評価力”の向上』教育開発研究所、2006年。
9. 『新たな教員評価の導入と展開』教育開発研究所、2006年。
10. 『指導教員のための初任者研修の進め方』教育開発研究所、2006年。
11. 『子どもの人間力を育てる学校改善マネジメント—その方策と実践』教育開発研究所、2006年。
12. 『改正教育法規と学校経営全課題』教育開発研究所、2009年。
13. 『校長・教頭のリーダーシップとマネジメント術』教育開発研究所、2015年。
14. 『教育における指導ラウンド—ハーバードのチャレンジ』（監訳）、風間書房、2015年。

III 学会誌論文

1. 「米国における基礎学力テスト（Minimum Competency Test）政策—成立の背景と法的問題点を中心に」『関東教育学会紀要』12号、1985年9月、pp.38-50.
2. 「米国における教員能力試験政策の法的問題点と課題」『日本教育行政学会年報』12号、教育開発研究所、1986年10月、pp.202-219.
3. 「アメリカ合衆国における教員免許資格構造の特質と課題 - 19世紀後半から20世紀初頭において - 」『日本教育経営学紀要』29号、第一法規、1987年6月 pp.97-113.
4. 「アメリカ合衆国における教員免許状の州間互換認定の歴史的発展と今日的基盤」日本比較教育学会編『比較教育学』14号、東信堂、1988年6月、pp.76-87.
5. 八尾坂修・牛渡淳 共著「生徒指導にかかわる教師教育改善への一考察—大学教師意識調査結果をふまえて—」『日本教育行政学会年報』15号、教育開発研究所、1989年10月、pp.269-289.
6. 菊地栄治・八尾坂修・坂本孝徳・河合久 共著「初任者の力量形成と勤務校の組織風土—「教科指導」研修を中心に」『日本教育経営学会紀要』35号、第一法規、1993年6月、pp.56-68.
7. 「アメリカにおける教職資格特別プログラムの特質と効果に関する一考察—州事例に視点をあてて—」日本比較教育学会『比較教育学研究』20号、東信堂、1994年9月、pp.154-164.
8. 「高校教育改革（愛知県）と高校側の対応—アメリカとの若干の比較」『アメリカ教育学会紀要』6号、1995年9月、pp.41-46.
9. 「アメリカにおける学校管理職の資格・免許制度の現状と課題」『日本教育制度学会紀要』2号、紫峰図書、1995年10月、pp.98-105.
10. 「中堅層教員に対する学校経営関連研修の今日的特色」『日本教育制度学会紀要』3号、紫峰図書、1996年9月、pp.66-72.
11. 「学校管理職の養成と選考・研修—学校指導者の意識—」『日本教育制度学会紀要』4号、紫峰図書、1997年11月、pp.87-89.
12. 「アメリカ—全米的教員資格の開発—」『日本教育経営学会紀要』40号、第一法規、1998年3月、pp.140-141.
13. 「全米教職専門職基準委員会（NBPTS）による優秀教員の認定」『アメリカ教育学会紀要』9号、1998年10月、pp.64-72.
14. 「アメリカにおける学級編制研究の推移と州政策の方向」日本教育学会編『教育学研究』66巻1号、

- 1999年3月、pp.78-82.
15. 「アメリカにおける教師教育改革—免許資格・大学養成・オールターナティブの視点から」『日本教師教育学会年報』8号、1999年9月、pp.42-47.
 16. 審査結果の概要（研究奨励賞論文、「オーストラリア首都直轄区の学校評価に関する一考察—自律的学校経営における学校評価の役割に着目して—」）『日本教育経営学会紀要』41号、第一法規、1999年6月、pp.133-135.
 17. 「書評：南新秀一著、アメリカ公教育の成立—19世紀マサチューセッツにおける思想と制度」『関西教育行政学会紀要』27号、2000年3月、pp.58-62.
 18. 「わが国の学校評議員制と学校自己評価」『日本教育制度学会紀要』7号、紫峰図書、2000年11月、pp.196-203.
 19. 「教育経営学における組織文化研究の到達点と今後の課題—総括」『日本教育経営学会紀要』42号、第一法規、2000年6月、pp.91-63.
 20. 「書評・山田礼子著『プロフェッショナル・スクール』」『アメリカ教育学会紀要』、12号、2001年10月、pp.64-66.
 21. 「わが国における指導力不足教員の判例等からみた様相と対応策の展望」『教育制度学研究』8号、2001年11月、pp.291-302.
 22. 「教員現職研修の今日的課題と対応」『日本教育経営学会紀要』43号、2001年6月、pp.30-41.
 23. 「アメリカにおける教職員配置の改革動向」関西教育行政学会『教育行政研究』28号、2001年3月、pp.48-51.
 24. 「日本における教員給与制度と教員人事評価の動向」『21世紀知識基盤社会の教員政策』（第8回韓国・日本教育行政学共同セミナー）、韓国教育行政学会、2001年10月、pp.159-169.
 25. 「大学教員の教員養成への活動と影響要因」日本教育学会編『教育学研究』69巻1号、2002年3月、pp.83-86.
 26. 「日本における学校評価政策と能力開発型教員人事評価」『日本教育行政学会年報』28号、2002年10月、pp.273-281.
 27. 「書評・牛渡 淳著『現代米国教員研修改革の研究 教員センター運動を中心に』」日本教育学会編『教育学研究』69巻4号、2002年12月、pp.12-14.
 28. 「(教員制度研究情報 教員制度研究動向紹介) 教員制度研究の新たな視座」『教育制度学研究』11号、2004年11月、pp.315-321.
 29. 「東京都や大阪府の教員人事評価事例からみた課題」『教育制度学研究』11号、2004年11月、pp.108-112.
 30. 「討論とまとめ これからの教員人事評価の活路を探る」日本教育制度学会『教育制度学研究』12号、2005年11月、pp.135-137.
 31. 「教員免許、学校評価制度改革の視点から“学校力”“教師力”“人間力”を考える」『教育制度学研究』14号、2007年11月、pp.53-65.
 32. 「外部評価・第三者評価における教育経営研究者の関与と役割」『日本教育経営学会紀要』50号、2008年5月、pp.174-177.
 33. 「教員免許更新制における専門性向上の視座」『日本教師教育学会年報』17号、2008年9月、pp.197-200.
 34. 「中央教育審議会論議（特別部会・教員養成部会）の方向性を探る」『教育制度学研究』18号、2011年11月、pp.137-142.
 35. 「書評・松尾知明著『アメリカの現代教育改革—スタンダードとアカウントビリティの光と影』」日本カリキュラム学会『カリキュラム研究』21号、2012年3月、pp.113-114.
 36. 「教員養成・免許・研修改革の方向と課題」『日本教育行政学会年報』38号、2012年10月、pp.136-139.
 37. 「教職課程認定・実地視察の機能：教員養成の質保証をめざす」『日本教育経営学会紀要』55号、2013年6月、pp.27-38.

IV 受託研究プロジェクトに基づく報告書（代表）

1 『大学等と教育委員会との組織的連携による第三者評価の実施手法に関する調査研究報告書』（2009年度文部科学省受託研究 学校の第三者評価の評価手法等に関する調査研究）、2010年3月。

〈研究協力者〉※当時の職位です。九州教育経営学会の会員の皆様によってプロジェクトが実施されました。

赤星 晋作 広島市立大学教授	田村 知子 中村学園大学講師
伊藤 文一 福岡女学院大学教授	垂見 直樹 九州大学学術研究員
大竹 晋吾 福岡教育大学准教授	露口 健司 愛媛大学准教授
大野 裕己 兵庫教育大学准教授	永添 祥多 西日本工業大学教授
川上 泰彦 佐賀大学講師	中留 武昭 鹿児島県立短期大学学長・九州大学名誉教授
川野 司 九州女子短期大学教授	日高 和美 九州共立大学講師
倉本 哲男 佐賀大学准教授	平嶋 一臣 純真短期大学非常勤講師
獅子目博文 鹿児島純真女子大学教授	蛭川 誠嗣 佐世保市教育会理事
島田 和幸 純真短期大学教授	日渡 円 宮崎県五ヶ瀬町教育委員会教育長
園田 頼暁 九州女子短期大学教授	森光 義昭 九州大学非常勤講師
高木 亮 中国短期大学講師	

〈研究協力者（大学院生）〉※大学院生当時です。

易 娜 九州大学大学院生	前田 晴男 九州大学大学院生
金子 研太 九州大学大学院生	山下 顕史 九州大学大学院生
清水 良彦 九州大学大学院生	雪丸 武彦 九州大学大学院生
波多江俊介 九州大学大学院生	楊 川 九州大学大学院生
畑中 大路 九州大学大学院生	李 昱輝 九州大学大学院生

〈第三者評価実施日程〉（訪問の際、皆さんがチームで協力して下さいました）

【福岡県糸島郡志摩町（現糸島市）】

日 程	学校名	評 価 者
平成21年11月13日(金)	I 小学校	八尾坂 修 (九州大学) 園田 頼暁 (九州女子短期大学) 蛭川 誠嗣 (佐世保市教育会)
平成21年11月26日(木)～27日(金)	C 中学校	八尾坂 修 (九州大学) 島田 和幸 (純真短期大学) 永添 祥多 (西日本工業大学)
平成21年11月26日(木)～27日(金)	B 小学校	赤星 晋作 (広島市立大学) 川野 司 (九州女子短期大学) 平嶋 一臣 (純真短期大学)
平成21年12月2日(水)～3日(木)	E 小学校	伊藤 文一 (福岡女学院大学) 園田 頼暁 (九州女子短期大学) 平嶋 一臣 (純真短期大学)
平成22年1月19日(火)～20日(水)	C 小学校	大竹 晋吾 (福岡教育大学) 大野 裕己 (兵庫教育大学) 高木 亮 (中国短期大学) 蛭川 誠嗣 (佐世保市教育会)

【宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町】

日 程	学校名	評 価 者
平成21年12月 1 日(火)～ 2 日(水)	B 中学校 G 小学校 F 小学校 D 小学校	島田 和幸 (純真短期大学) 蛭川 誠嗣 (佐世保市教育会)
平成21年12月 7 日(月)	A 小学校 A 中学校	八尾坂 修 (九州大学) 蛭川 誠嗣 (佐世保市教育会)

【福岡県太宰府市】

日 程	学校名	評 価 者
平成21年11月26日(木)～27日(金)	H 小学校	倉本 哲男 (佐賀大学) 蛭川 誠嗣 (佐世保市教育会) 森光 義昭 (元近畿大学九州短期大学)
平成22年 1 月28日(木)～29日(金)	D 中学校	八尾坂 修 (九州大学) 島田 和幸 (純真短期大学) 園田 頼暁 (九州女子短期大学) 田村 知子 (中村学園大学) 永添 祥多 (西日本工業大学)

※垂見直樹 (九州大学学術研究員がコーディネータとして同行)

2 『教育委員会と九州大学との連携による教育課題に対応した管理職マネジメントプログラムの開発』

(2014年度 文部科学省受託研究 総合的な教師力向上のための調査研究)、2015年 3 月

〈執筆者〉(掲載順)

八尾坂 修 (九州大学)	増 田 健太郎 (九州大学)
大 竹 晋 吾 (福岡教育大学)	露 口 健 司 (愛媛大学)
原 田 薫 (株式会社ポテンシャル・アクト)	加留部 貴 行 (九州大学客員)

〈調査研究協力者〉

孫 雪 熒 (九州大学大学院博士後期課程院生)
阿 南 清士郎 (九州大学大学院修士課程院生)
江 藤 将 行 (九州大学大学院修士課程院生)

(私の入院前後、平成27年 1 月～ 3 月末、執筆者の先生方、研究協力者である院生の方には多大な御協力をいただきました。)

- 大学等研究紀要、編さん書論文、雑誌論文、新聞記事論評等は省略 (執筆750点程度) いたします。

V 筆者の単著に関する書評(例) 『内外教育』時事通信社、2008年8月19日。

〈専門性を加算する発想が新鮮〉

『教員免許更新制度』

八尾坂 修著

「改正教育職員免許法」が成立した。これをきっかけに、教員免許更新制が二〇〇九年から導入されることになった。
「教員免許」というと、すぐに法制度が思い浮かぶ。関係の書は、法の解釈ばかりの記述が多くて、理解するのに骨が折れる—というように。
本書は違う。一番言いたいことを率直に提示しているから、筋がぶれない。教員が定期的に最新の知識技能を身につけ、自信と誇りを持って教壇に立つことを支援しようとしている。
本書の特徴は、教員免許の本質を絶えざる「更新」に求めている点にある。教師の力量は自主的な「更新」によって維持され、高められる。その裏付けを、国際比較によって解き明かしている。
その上で、教員養成や講習のカリキュラムを開発し、それ全体をどのように運営するかまでを説く。いずれこういう構成の書が世に出るだろうと待っていたが、今ようやく本書のような内容の本が世に出た。危機に対する対応がそれだけ深いところから生じているからだろう。
説明は明快、図も表も巧みに使い、読者を飽きさせないし、問いの立て方がすっきりしているから読者の関心をそらさない。テーマによっては、現場からの質問にも正面から答えていて、新人にもベテランにも参考になる。
本書全体を、日本の教員の質の向上に向けた知恵の結集と読むことができるように思う。

明治図書出版

(堀内 守=名古屋大学名誉教授)

VI 全国学会大会委員長

1. アメリカ教育学会 第11回大会 1999年9月 会場：奈良教育大学
2. 日本教育経営学会 第41回大会 2001年6月 会場：奈良教育大学
3. 日本教育制度学会 第14回大会 2006年11月 会場：九州大学
4. 日本教育行政学会 第46回大会 2011年10月 会場：九州大学
5. アメリカ教育学会 第24回大会 2012年10月 会場：九州大学
6. 日本教育学会 第73回大会 2014年8月 会場：九州大学

VII 八尾坂研究室指導学生 学部卒業・修士課程、博士後期課程修了・単位取得満期 一覧

(平成16年4月～平成28年3月)

1. 教育学部卒業(平成28年3月卒業予定含む) 28名

雪丸 武彦	濱田 恭平	山口 亮	平井 有紀
妹尾 越子	川内 健俊	山口 直樹	中家 朝子
松江 光花	福島 卓哉	長友 理紗	福田優里奈
恵藤 淳矢	田添 陽子	宮本つぼみ	由布 彩華
原 昌広	野津 麻衣	村松 真衣	坂本 祥章
堀内 綾乃	畑中 大路	安達 陵人	高崎 俊輔
富松 幸子	中間 長満	江藤 将行	楊 峽喧

2. 人間環境学府 修士課程修了（平成28年3月修了予定含む）50名

筒井 恵子	高山 静子	新川由美子	山田 敏明
井上 敦子	藤川 秀幸	韓 冰梅	鄭 春紅
江藤 邦博	松本 祐子	張 恵婷	竹中 仁志
岡部 一夫	山下 顕史	豊辻 晴香	田中 美保
前田由紀子	園田 頼暁	馬場 悦子	周 伊蒙
高野 祥一	濱田 恭平	曾我 悦子	阿南清士朗
中島美津子	梶原 健二	相良 誠司	江藤 将行
安部和歌葉	岸本奈美江	扇 哲久	胡 瀛月
雪丸 武彦	鄭 方平	王 爽	砥上あけみ
土生 賢行	畑中 大路	内田 正二	張 斯文
妹尾 越子	相川 源晴	梶原 健司	檜原 英樹
山根理恵子	呉 会利	清田 雄二	
岩本 晃代	平嶋 一臣	山田 深雪	

内田 正二（平成27年度大学院研究生）

山口美智子（平成27年度大学院研究生）

3. 人間環境学府 博士後期課程（平成28年3月修了、満期含む）22名

露口 健司	生嶋亜樹子	山下 顕史	孫 雪熒
李 昱輝	秦 敬治	高山 静子	曾我 悦子
畑中 大路	田村 知子	戚 蕊	余公 裕次
原田 広枝	易 娜	島田 和幸	余公 敏子
大竹 晋吾	雪丸 武彦	山田 俊之	
倉本 哲男	岩本 晃代	梶原 健二	

私の研究室の皆さんの姿をみて、大変インパクトを得て、教育・研究生活を過ごすことができました。また、元兼先生の研究室の皆さんからも有益な教育マインドをいただきました。